

第1回「グリーン・コンビナートおおいた」推進会議の開催について

1 目的

今後の経済活動において、カーボンニュートラルへの対応が求められる中、特に県経済の牽引役である大分コンビナートの脱炭素化と持続的成長の両立は、県勢発展を大きく左右する最重要課題の一つであり、関係者一丸となって解決を図っていく必要がある。その際、官民投資の効率を高めるには、次世代エネルギー水素の供給・利活用、カーボンリサイクルなどを軸とした、新たな企業間連携や周辺地域との繋がりが不可欠。

脱炭素化に向けた革新的技術の実装には、もうしばらくの期間を要するが、産学官連携による検討体制の下、大分コンビナートが2030年、2050年を見据えて向うべき方向性（ありたい姿）を、関係者共有の「構想」として取りまとめ、「グリーン・コンビナートおおいた」の実現に向けた展望を切り拓いていく。

2 「グリーン・コンビナートおおいた」推進会議 (R5.8.2 設置)

○メンバー：大分県知事（会長）、大分コンビナート企業協議会会員企業11社（所長等）、大分市長、大分大学長 計14名【別紙】

※事務局：大分県商工観光労働部 工業振興課

<参考：カーボンニュートラル検討プロジェクトチーム(PT)>

- メンバー：大分県、大分市、大分コンビナート企業協議会会員企業11社（実務レベル）
- オブザーバー：大分県産業科学技術センター長、大分大学理工学部長 ほか

3 開催日時 等

令和5年8月2日(水)16:20～18:00 レンブラントホテル大分(2F久住の間)

○次第

- 1 会長挨拶（大分県知事 佐藤 樹一郎）
- 2 今後の検討内容
- 3 カーボンニュートラルに向けた各社等の取組ほか
- 4 今後のスケジュール

※予定：第2回会議：10月(中間報告)、第3回会議：R6.1月(取りまとめ)

【参考】

○今後10年程度での水素等の供給拠点整備(政府方針)

大規模拠点：大都市圏を中心に3カ所程度

中規模拠点：地域に分散して5カ所程度

担当：工業振興課工業支援班

高橋・瀧野・若杉

TEL 097-506-3294